

医療従事者向け 認知症対応力向上研修

急速な高齢化に伴い、認知症の人も急増しています。厚生労働省の推計では、65歳以上高齢者の約4人に1人が認知症の人又はその予備軍とも言われています。

医療従事者の皆様が早期に認知症に気づき、適切にご対応いただくことや、相談機関をご紹介いただくことが、ご本人、ご家族の安心につながります。認知症患者に携わっている認知症専門医等から認知症に関する基本的な知識や相談機関に関する情報をお伝えします。

日々の業務に役立つ内容が盛りだくさんですので、ぜひ、この機会にご参加ください。

日時：平成29年3月1日（水）

時間：午後1時30分～午後5時（受付：午後1時から）

場所：横浜市総合保健医療センター4階講堂

（横浜市港北区鳥山町1735番地 横浜労災病院となり）

対象者：市内在勤の医療従事者

（看護師、薬剤師、鍼灸マッサージ師、医療事務等）

定員：80名

参加費：無料

内容

◆ 認知症の基礎的な理解

横浜市総合保健医療センター 診療部医長 川越 泰子氏

認知症の病態生理から現れる症状、早期発見・対応の意義等について

◆ 認知症の人の家族の気持ち

公益社団法人 認知症の人と家族の会神奈川県支部副代表世話人 小林 俊一氏

認知症の方を介護されているご家族の立場から、知っておいてもらいたいと思う介護者の気持ちについて

◆ 認知症の人への接し方

横浜市総合保健医療センター 看護部担当科長 山下 里子氏

認知症の方の気持ちに寄り添った対応をするためのポイントや、介護をしているご家族を支えるための基本的な知識について

申込締切：平成29年2月20日（月）

裏面参照

こんな経験ありませんか？



「薬をもらっていない」と相談されるが、前日に処方されていることを説明しても覚えていない。

（以前は几帳面な方だったのに）物を置いた場所をたびたび忘れてしまう、人と約束したことを忘れる、同じ話を繰り返すなど以前と様子が異なる。

【主催】公益財団法人横浜市総合保健医療財団
（横浜市認知症疾患医療センター受託）
横浜市健康福祉局

●申込方法：申込用紙に必要事項を記載し、FAX又は郵送等でご送付ください。

●申込締切：平成29年2月20日（月）必着

●問合わせ先：横浜市総合保健医療センター総合相談室
〒222-0035 横浜市港北区烏山町1735番地
☎045-475-0103 / FAX045-475-0101

※受講に際して特別な配慮が必要な方は、事前にお知らせ下さい。

*応募多数の際は、抽選とさせていただきます。受講できない場合のみ、ご連絡します。

<会場案内図>



【アクセス】

JR横浜線/市営地下鉄「新横浜」駅
下車 徒歩約10分

横浜市営バス「浜島橋」停留所すぐ前



3/1 医療従事者向け認知症対応力向上研修申込書



<申込先>FAX:045-475-0101

または郵送：〒222-0035 横浜市港北区烏山町1735番地
横浜市総合保健医療センター 総合相談室

勤務先名・所在区名() 区 () ご連絡先電話番号 (- -)

(ふりがな) お名前	職種
()	<input type="checkbox"/> ：看護師 <input type="checkbox"/> 医療事務 <input type="checkbox"/> ：薬剤師 <input type="checkbox"/> 鍼灸師・マッサージ師 <input type="checkbox"/> ：その他 ()
()	<input type="checkbox"/> ：看護師 <input type="checkbox"/> 医療事務 <input type="checkbox"/> ：薬剤師 <input type="checkbox"/> 鍼灸師・マッサージ師 <input type="checkbox"/> ：その他 ()
()	<input type="checkbox"/> ：看護師 <input type="checkbox"/> 医療事務 <input type="checkbox"/> ：薬剤師 <input type="checkbox"/> 鍼灸師・マッサージ師 <input type="checkbox"/> ：その他 ()

※個人情報の利用目的および提供について提出いただきました個人情報は、本研修の目的以外には使用しません。